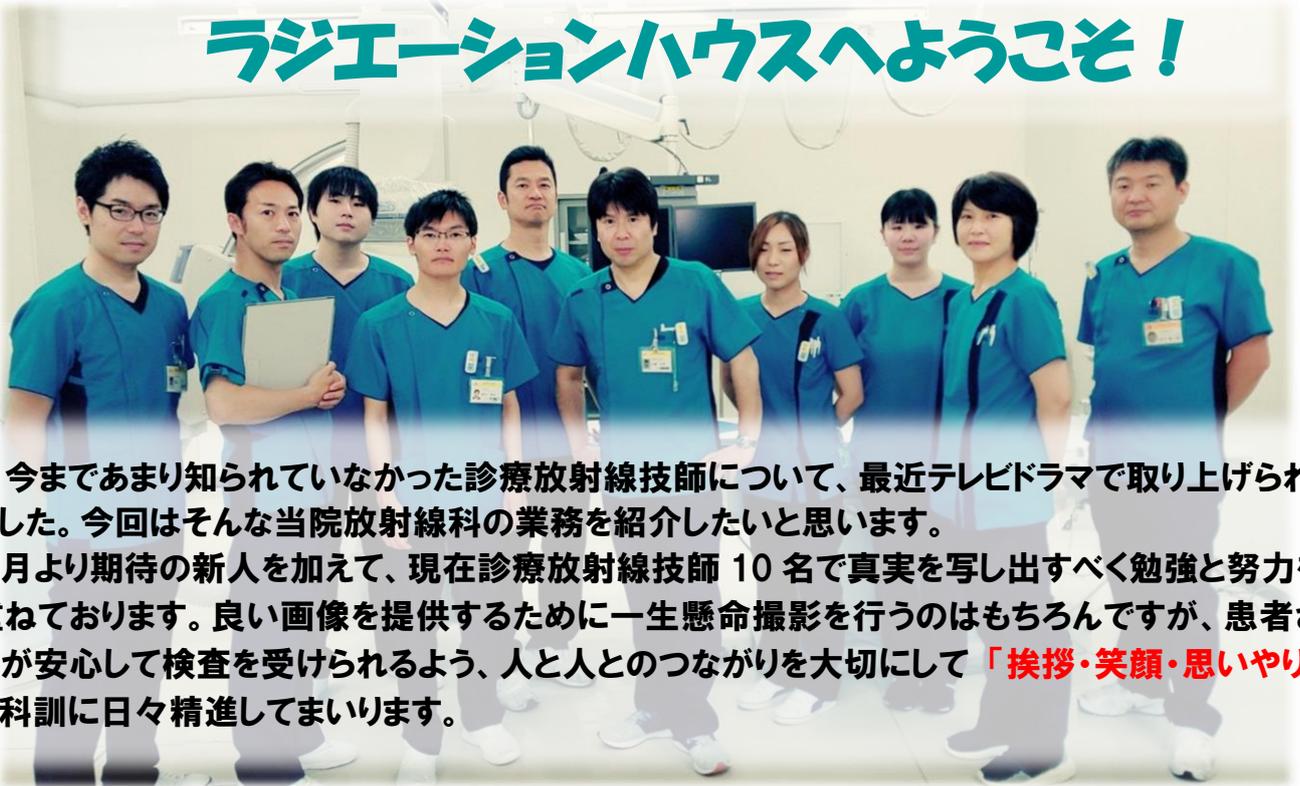


清水厚生病院

ラジエーションハウスへようこそ！



今まであまり知られていなかった診療放射線技師について、最近テレビドラマで取り上げられました。今回はそんな当院放射線科の業務を紹介したいと思います。
4月より期待の新人を加えて、現在診療放射線技師10名で真実を写し出すべく勉強と努力を重ねております。良い画像を提供するために一生懸命撮影を行うのはもちろんですが、患者さんが安心して検査を受けられるよう、人と人とのつながりを大切にして「挨拶・笑顔・思いやり」を科訓に日々精進してまいります。

『検査部門』

- 単純 X 線撮影
- CT 検査
- MRI 検査
- 超音波検査
- 骨密度測定
- X 線 TV 検査
- 血管造影検査
- マンモグラフィ検査



●単純 X 線撮影

いわゆるレントゲン撮影と言われる検査です。X線という放射線を照射して写真を撮ります。人体を透過したX線の量を白黒の写真としてあらわす検査で、骨などはX線が透過しにくく写真上白く映り、逆に空気などは黒く映ります。

撮影する部位に金属やプラスチック等（ネックレス、カイロ、ヘアピン等）があると写ってしまうため外して頂きます。

●CT 検査

CTとはコンピュータ断層撮影（Computed Tomography）の略です。X線を照射し、体の内部を輪切りで撮影することが出来ます。技術の進歩により短時間で広範囲の撮影が可能になり、3D画像などの画質も向上し、診断や治療に役立っています。

検査によって造影剤を使用することがあります。造影剤によって病変が見やすくなり、より正確な診断が可能となります。

●MRI 検査

MRIとは核磁気共鳴画像（Magnetic Resonance Imaging）の略です。放射線は使用せず、強い**磁石**と**電波**を使って体内を断面像で見ることが出来ます。検査中に機械から大きな音がするのが特徴です。体内に、心臓ペースメーカーや脳動脈クリップなどがある方は検査が受けられません。また、携帯電話や時計などを検査室に持ち込むと故障することがありますのでご注意ください。

●超音波（エコー）検査

人の耳に聞こえないほど**高い周波数**の音である超音波を身体にあてて検査をします。身体の中の様々な病気が分かります。

放射線を使用しないので被ばくが無いというメリットがあります。



●骨密度検査

骨がスカスカになる**“骨粗鬆症”**の診断の為に、骨の密度を測定する機械です。骨折しやすいと言われる「**腰椎**」と「**股関節**」で写真を撮ります。

●X線TV検査

いわゆる**バリウム検査**を行う装置で、体の中を透視するように観察できます。胃の検査だけでなく、食道、胆管、整形外科領域などの検査や治療に利用されます。



●血管造影検査

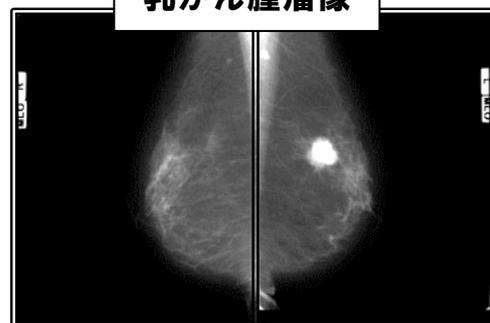
腕や足の付け根から血管の中に**細い管（カテーテル）**を入れ、造影剤を流しながら撮影を行います。様々な血管の病変や、腫瘍の検査・治療を行う事が出来ます。

●マンモグラフィ検査

乳房を平たく圧迫し専用のX線装置で撮影します。乳房内に発生する腫瘍や、乳がんの所見である小さな石灰化を発見することが出来ます。

現在、日本人女性の11人に1人が乳がんになると言われており（2015年調べ）、40歳以上の方は2年に1度の乳がん検診が推奨されています。

乳がん腫瘍像



右乳房（正常） 左乳房（乳がん）



※疑問などございましたら、お気軽にスタッフにお尋ねください